



1. 創立40周年！台湾米山学友会が記念式典開催

現在、国内外で43の米山学友会が活動していますが、最初の学友会として1983年から活動を開始した台湾米山学友会。そして今年、同学友会は創立40周年を迎え、その記念式典が11月25日、台北市内で開催されました。会場には台湾在住の米山学友や、同学友会が支援する日本人奨学生のほか、日本からも多くの参加者が現地に集結。参加者は111人となりました。

当会からは、若林紀男理事長、滝澤功治副理事長、駒井英基常務理事が出席。そのほか、韓国学友会の全炳台会長（1980-83、91／仙台北RC）、スリランカ学友会のダシルワ プドゥウ会長（2007-09／室蘭北RC）や、台湾学友会の歴代理事長らも駆けつけ、節目の40周年を祝いま



した。
林志昇^{リンシンショウ}理事長（1992-94／津RC）は、「これまで支えていただいたロータリー会員と米山奨学会に改めて御礼申し上げます」と感謝の言葉を述べました。活動・会計報告を行った後、同学友会が独自支援している日本人奨学生5人が流ちょうな中国語で自己紹介を行い、温かい拍手が送られました。なお、同学友会が2009年から日本人若手研究者奨学金として支援してきた奨学生は累計53人となり、今回の式典にも元奨学生6人が出席しました。

台湾のみならず、韓国やスリランカからも学友が集った会場では、これまでの台湾学友会の歩みを振り返るとともに、感謝の言葉で溢れました。



2. 来年の年賀状は学友がデザイン

当会では、評議員、理事、監事、専門委員、地区米山奨学委員長、奨学生、日本在住の学友などへ毎年年賀状を送っています。来年の年賀状は、アーティストとして活躍する米山学友、ロウギョウネイさん（2018-19／東京町田RC／東京麴町スターロータリー衛星クラブ創立会員）によるデザイン。お手元に年賀状が届いた方は、じっくりとご覧ください。

<ロウギョウネイさんからメッセージ>

この作品のタイトルは「抱龍」です。来年の干支である龍は、幸運の象徴。2024年は、皆さんそれぞれが多幸を胸に抱くことができるよう願いを込めて、龍を抱く姿を描きました。一人でも多くの方が、たくさんの幸福をその胸に抱くことができますように。



HAPPY NEW YEAR

デザイン：ロウギョウネイさん（2018-19／東京町田RC）

ロータリー米山記念奨学会は、日本のロータリー会員によって支えられている事業です。2023学年度は日本全国で900人、これまでに世界131の国・地域から23,509人を支援しています。旧年中のご厚誼に感謝いたしますとともに、皆様にとって多き新年となりますよう、心からお祈り申し上げます。

2024年 元旦
理事長 若林 紀男
事務局 一同

Rotary 公益財団法人
ロータリー米山記念奨学会
Rothschilds of Japan
〒105-0011 東京都港区芝公園6-15 国際芝公園ビル3階

3. 次期地区米山記念奨学委員長セミナー開催報告

2024-25 年度地区米山記念奨学委員長を対象とする第1回セミナーを12月4日、都内会場で開催しました。

午前の部は、若林紀男理事長の挨拶、井原實常務理事の講話から始まり、滝澤功治副理事長から危機管理に関してご説明いただいた後、事務局から学務関連について説明を行いました。

午後の部では、事務局から寄付、広報、学友会について説明。続いて第2660地区（大阪府）の事例発表として、辻本啓之次期委員長より寄付増進の取り組みについてご紹介いただきました。同じく事例発表として、第2650地区（福井・奈良・滋賀県・京都府）の片山隆永委員長から、危機管理に関する対応事例について発表いた



きました。その後、4グループに分かれて「寄付増進について」「奨学生選考と育成について」「学友・学友会について」「危機管理について」などをテーマにディスカッションと各グループからの報告が行われ、質疑応答を経て、神野重行常務理事の講評で締めくくられました。

4. 寄付金速報 — 12月の送金はお早めに —

前年同期比

+ 4.9%

普 + 0.3% 特 + 7.0%

11月までの寄付金は、前年同期と比べて4.9%増（普通寄付金:0.3%増、特別寄付金:7.0%増）、約3,480万円の増加となりました。今月は特別寄付金に加え、普通寄付金

も前年度を上回るご寄付をいただきました。常日頃からご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。12月29日（金）までに当会口座に着金した特別寄付金については、確定申告用領収証を来年1月末日までに各クラブ宛に発送します。確定申告をご予定されている方は、お早目にご送金くださいますようお願いいたします。

5. 韓国米山学友会が総会開催

11月18日、ソウル市内のホテルにて、韓国米山学友会総会が開催され、国内外から集まった米山学友とロータリー会員ら73人が参加しました。当会からは若林紀男理事長、滝澤功治副理事長、柚木裕子事務局長が出席しました。



全炳台会長が開会挨拶を行い、参加者への感謝を述べた後、若林理事長から祝辞が送られました。その後、日本人奨学生への奨学金授与式が行われ、今年度の9人の奨学生のうち出席した4人が受け取りました。同学友会は独自で現

地日本人留学生を支援しており、累計の奨学生数は42人となりました。

また、今年度をもって、2014年から10年にわたり同学友会の会長を務めた全炳台さんが退任し、2024年1月1日

から新たに朴在泳^{パクジェヨン}さん（1995-97/仙台泉RC）が6代目の会長に就任することが決定。就任に際し、「学友会の発展のために努力し、韓国と日本の懸け橋となり、世界各国の学友会と交流を通じて米山の精神を受け継いでいきます」と、今後の学友会活動への意気込みを語りました。

6. 食と文化の奉仕活動 第 2750 地区米山学友会

11月11日、東京都市大学等々力高等学校にて国際交流イベント「米山クロスカルチャー」が開催されました。この取り組みは、今年で9回目の開催で、東京クロスシティRCが主催しており、第2750地区米山学友会と同地区米山記念奨学委員会が後援しています。

同校の高校生231人に対し、現役奨学生・学友やローターアクターなど51人が講師役を務め、母国紹介や留学経験、趣味についての話題を日本語と英語、あるいは各自の母国語を交えて交流。生徒らは英語でプレゼンテーションを行うなど、お互いが外国語を用いた異文化交流を行いました。

また翌週18日には「ひとり親支援フードドライブ」を開催。6人の学友と9人のローターア



クター、同地区の粕谷啓之米山記念奨学委員長らが参加しました。東京オーキッド世田谷南RAC、東京クロスシティRCと連携し、世田谷区内在住で、子ども食堂の利用経験がないひとり親の方々100世帯分の食材を集め、世田谷区社会福祉協議会に寄付しました。寄付されたものには、ローターアクターの相楽侑加さんのご実家の福島産コシヒカリや、学友提案のレシピ用食材、韓国のお菓子など、さまざまな食材が集まったそうです。また、食材寄付に加え、同学友会が掲げる3つのテーマである「震災や災害情報支援」「食を通じた国際交流」「高齢者の社会参加」に沿って、東京オーキッド世田谷南RACが地震発生時の防災ガイドラインの提供、第2750地区学友会が海外食材を使ったレシピと文化紹介と、デイサービスでの子ども向けプレゼントの製作を行いました。

◆ベトナム南米山学友会 創立記念式典のご案内◆

海外10番目の学友会として設立されたベトナム南学友会の
創立記念式典が開催されます

2024年3月10日(日) 17:00~21:00
THANH THUY レストランにて開催(ホーチミン市内)
問合せ先: vietnam.yoneyama@gmail.com

詳細はQRコードから



申告用領収書は来年1月にお送りします



ロータリー米山記念奨学会へのご寄付は税制優遇を受けることができ、「税額控除」か「所得控除」いずれか有利な方式を選択できます。今年1~12月に寄付をした方には、来年1月末までに申告用領収書をクラブ経由でお送りします。12月29日(金) 当会着金分までが対象です。

米山記念奨学会事務局は、12月28日(木)~1月8日(月)の間休業させていただきます。来年は1月9日(火)より通常業務となります。